



## ○ 狩猟免許試験の受付が始まります！

### 1 狩猟免許試験を受けるには

2024 年度第 1 回狩猟免許試験の申込受付が **2024 年 6 月 7 日 (金)** から始まります。狩猟を行うためには、まず狩猟免許試験に合格し、狩猟免許を取得する必要があります。愛知県では狩猟免許試験は年に 2 回開催を予定しており、今年度の日程は表 1 のとおりです。狩猟に興味がある方は、ぜひお申し込みください！

表 1 狩猟免許試験の日程及び場所等

| 開催回   | 試験日           | 場所                            | 申請書の受付期間                       |
|-------|---------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 第 1 回 | 2024/8/4 (日)  | 刈谷市産業振興センター<br>(刈谷市相生町 1-1-6) | 2024/6/7 (金)<br>~6/21 (金)      |
| 第 2 回 | 2025/2/15 (土) |                               | 2024/12/9 (月)<br>~2025/1/6 (月) |

申請に関する問合先や提出先は、表 2 のとおり、お住まいの市町村によって異なりますので、ご注意ください。詳細は以下の QR コードのリンク先からご確認いただけます。

顔写真や医師の診断書など、用意するのに時間のかかるものもありますので、準備はお早めに！！

- ・愛知県狩猟関係ポータル

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/syuryou.html>)

- ・令和 6 年度狩猟免許試験について

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/shuryoumenkyoshiken2024.html>)



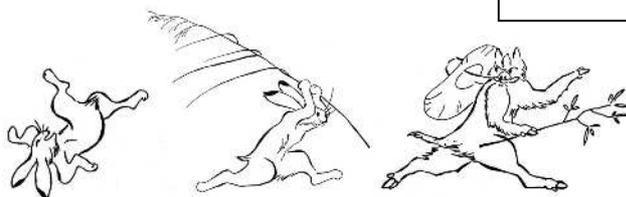
くくりわな



ニホンジカ



鹿カツ



愛知県農業水産局農政部  
農業振興課野生イノシシ対策室  
お問い合わせ TEL052-954-6726



表2 問合せ先・申請先

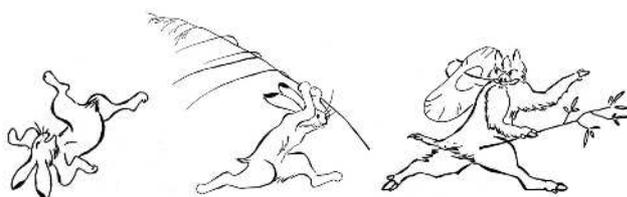
| 所管市町村  | 問合せ先・申請先                          | 住所・電話番号  |
|--|-----------------------------------|--|
| 名古屋市   | 自然環境課<br>(愛知県庁西庁舎)<br>野生生物・鳥獣グループ | 〒460-8501<br>名古屋市中区三の丸 3-1-2<br>052-954-6230                 |
| 豊橋市、豊川市、蒲郡市、<br>田原市  | 東三河総局県民環境部<br>環境保全課               | 〒440-8515<br>豊橋市八町通 5-4<br>0532-35-6113                      |
| 新城市、設楽町、東栄町、<br>豊根村  | 東三河総局<br>新城設楽振興事務所<br>環境保全課       | 〒441-1365<br>新城市字石名号 20-1<br>0536-23-2117                    |
| 一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、<br>江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、<br>岩倉市、豊明市、日進市、清須市、<br>北名古屋市、長久手市、東郷町、<br>豊山町、大口町、扶桑町 | 尾張県民事務所<br>環境保全課                  | 〒460-8512<br>名古屋市中区三の丸 2-6-1<br>052-961-7254<br>052-961-7255 |
| 津島市、愛西市、弥富市、あま市、<br>大治町、蟹江町、飛島村  | 海部県民事務所<br>環境保全課                  | 〒496-8531<br>0567-24-2131<br>津島市西柳原町 1-14                    |
| 半田市、常滑市、東海市、大府市、<br>知多市、阿久比町、東浦町、<br>南知多町、美浜町、武豊町  | 知多県民事務所※<br>環境保全課                 | 〒475-8501<br>0569-21-8111<br>半田市出口町 1-36                     |
| 岡崎市、碧南市、刈谷市、<br>安城市、西尾市、知立市、<br>高浜市、幸田町  | 西三河県民事務所※<br>環境保全課                | 〒444-8551<br>岡崎市明大寺本町 1-4<br>0564-27-2875                    |
| 豊田市、みよし市   | 西三河県民事務所<br>豊田加茂環境保全課             | 〒471-8503<br>豊田市元城町 4-45<br>0565-32-7494                     |

※庁舎の改修工事が実施されていますので、来庁される際はウェブページ等から状況をご確認ください。

## 2 狩猟免許試験の申込をする前に

狩猟免許試験の受験費等、狩猟免許の受験に係る経費について、補助を実施している市町村があります。補助を受けるための条件もありますので、補助制度の活用を検討されている方は、事前にお住いの市町村役場にお問合せください。

(NK)





## ○イノシシの捕獲頭数について【2023 年度第 4 四半期及び通期速報】

県内の有害鳥獣捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等事業により捕獲されたイノシシの頭数について、2023 年度第 4 四半期（1 月から 3 月まで）及び通期分がまとまりました（表）。

第 4 四半期の県全体の捕獲頭数について、2023 年度（速報値）は 855 頭と、前年度同時期より減少しています。地域別に見ても、前年度と比較して全ての地域で減少していません（図 1）。

捕獲頭数の累計値（通期）は、前年度と比べ、尾張地域、西三河地域、新城設楽地域で減少しています。一方で東三河地域は 2022 年度比で約 1.3 倍、2021 年度比で約 1.9 倍に増加しており、今後の推移に注視が必要です（図 2）。

市町村等の関係機関におかれましては、捕獲頭数の集計に御協力いただきありがとうございました。本県の豚熱対策および取組の進捗状況確認のため、今年度も御協力のほどよろしくお願ひします。

表 直近 3 年度の地域ごとの野生イノシシの捕獲頭数※（頭）

|        | 第 4 四半期         |         |         | 通期              |         |         |
|--------|-----------------|---------|---------|-----------------|---------|---------|
|        | 2023 年度<br>【速報】 | 2022 年度 | 2021 年度 | 2023 年度<br>【速報】 | 2022 年度 | 2021 年度 |
| 尾張地域   | 113             | 166     | 160     | 843             | 985     | 758     |
| 西三河地域  | 415             | 503     | 749     | 3,496           | 3,808   | 4,173   |
| 東三河地域  | 198             | 239     | 184     | 1,231           | 935     | 653     |
| 新城設楽地域 | 129             | 184     | 183     | 722             | 1,054   | 657     |
| 計      | 855             | 1,092   | 1,276   | 6,292           | 6,782   | 6,241   |

※ 2021～2022 年度は狩猟による捕獲頭数を含む

図 1 野生イノシシの捕獲頭数の推移  
(第4四半期)

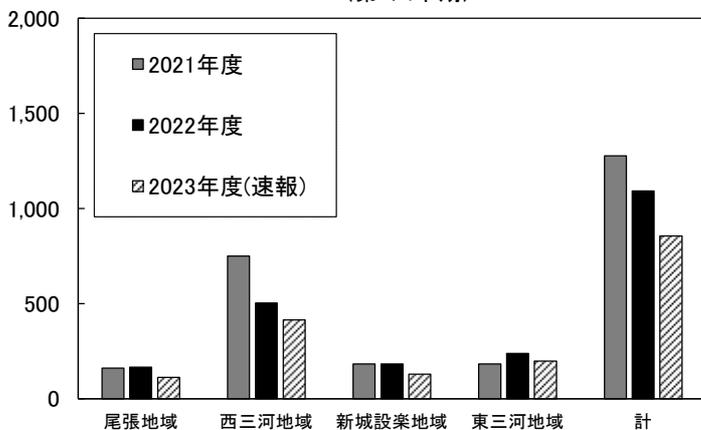
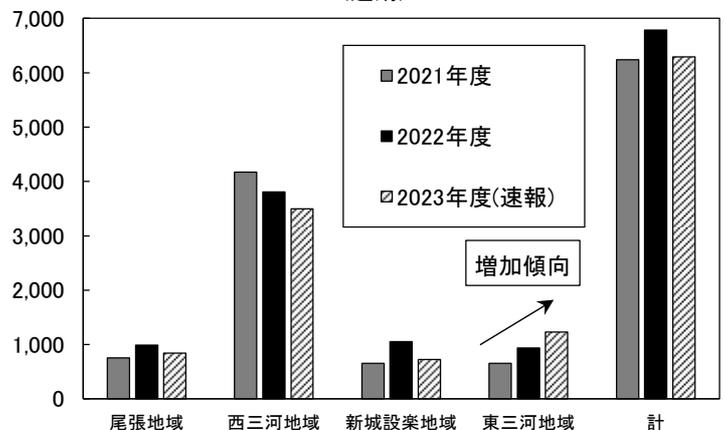
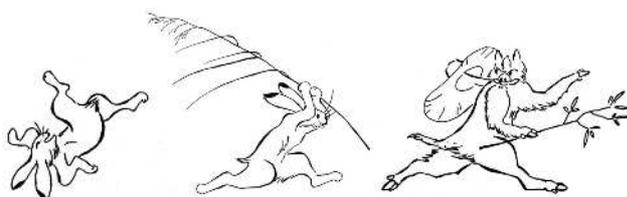


図 2 野生イノシシの捕獲頭数の推移  
(通期)



( I Y )





## ○ 野生イノシシの豚熱・アフリカ豚熱検査について

### 1 検査が対策の基本

2018年に岐阜県の養豚場で発生した豚熱は野生イノシシにも感染が広がり、現在までに本州と四国のほぼ全域に拡大しました。また、アジア諸国ではアフリカ豚熱が発生しており、わが国への侵入が危惧されます。豚とイノシシは分類的に同じ動物(学名はいずれも *Sus scrofa*)で、養豚場の防疫のためには野生イノシシ対策も必要です。ウイルスの浸潤状況が重要な情報となるため、愛知県では2018年の発生当初から野生イノシシの検査を実施しています。



野生イノシシの豚熱陽性個体確認地点  
(2018年9月13日～2024年4月24日)

### 2 検査方法

リアルタイムPCRによるウイルス遺伝子検査を実施しています。ウイルスに特異的な配列が検体に含まれると、その領域が増幅されます。なお、アフリカ豚熱の検査は、すべての死亡個体と一部の捕獲個体について実施しています。検査結果は原則として毎週木曜日に、愛知県公式ウェブサイトの野生イノシシ対策室ページに掲載しています。  
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/kensa.html>

### 3 検体の収集について

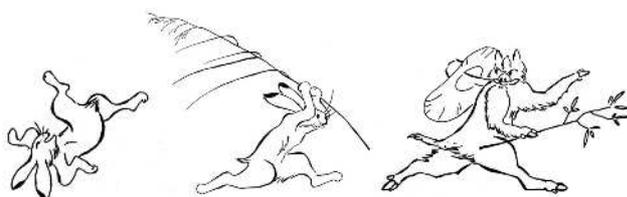
#### (1) 死亡個体

愛知県野生イノシシ対策室で発見通報を受け付け、検体を採取します。検体としては喉奥のリンパ組織である扁桃(へんとう)、もしくは耳介(じかい)を使用します。

これまでの検査の結果、死亡個体は捕獲個体に比べて明らかに高い豚熱陽性率を示しています。また、万一、アフリカ豚熱が野生イノシシに感染した場合は、死亡した状態で発見されると考えられます。死亡個体の検査は防疫対策の上で非常に重要なので、発見された場合は下記の連絡先までご一報いただけると幸いです。



平 日：052-954-6725 (ダイヤルイン)  
土日祝日：080-3668-1805 (休日対応用携帯電話)  
受付時間：午前8時45分から午後4時30分まで





特に有害鳥獣捕獲や狩猟に携わる方は、活動に起因する感染拡大を防ぐため、死亡個体には決して手を触れないようお願いいたします。周囲の方々も捕獲従事者に死体の片付け等を依頼しないようにするなど、地域全体の理解を促すようお願いいたします。



山中で発見、通報された死亡個体



2024年度から検体として認められた耳介

## (2) 捕獲個体

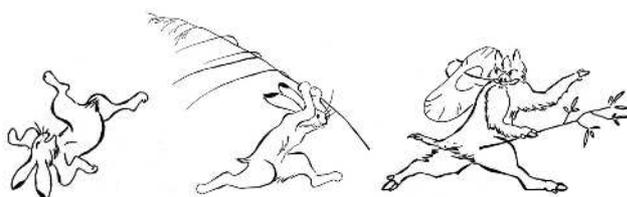
有害鳥獣捕獲等で捕獲された場合は、捕獲従事者の方に血液の採取と検査機関への送付をお願いしております。ご協力いただいた方には、予算の範囲内で、県内狩猟者2団体(愛知県猟友会、広域狩猟連合)を通じて協力金(実績に応じた経費補助)を支給しています。

捕獲個体からの検体採取・送付は、取組に積極的な地域とそうではない地域があり、実績に偏りが生じています。2024年度は、有害鳥獣捕獲従事者全員が8～9頭に1頭の割合で血液を採取して送っていただければ、全件に協力金を支給することができ、偏りも解消されます。有害鳥獣捕獲は地域の野生鳥獣対策の一翼を担う業務ですので、検体採取もその一環と捉え、積極的に取り組んでいただければ幸いです。また、検体採取に関わらず、捕獲個体の処分作業時は、防護服や手袋の着用、履物や車両の消毒など、衛生管理の徹底をお願いします。



捕獲個体から採取した血液検体

(TO)





## ○ 2023年度後期1回目豚熱経口ワクチンの回収調査結果について

### 調査時期

2023年度後期1回目散布時期（2023年9月～10月）

### 調査内容

1. 事前の餌付けが1地点あたりのイノシシによる経口ワクチン平均摂取個数に及ぼす影響

#### (1) 調査方法

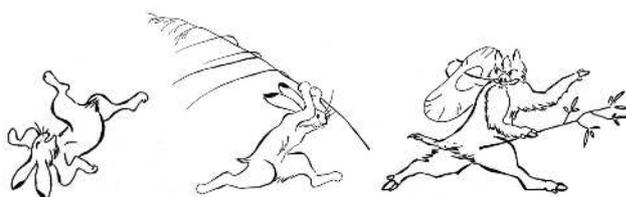
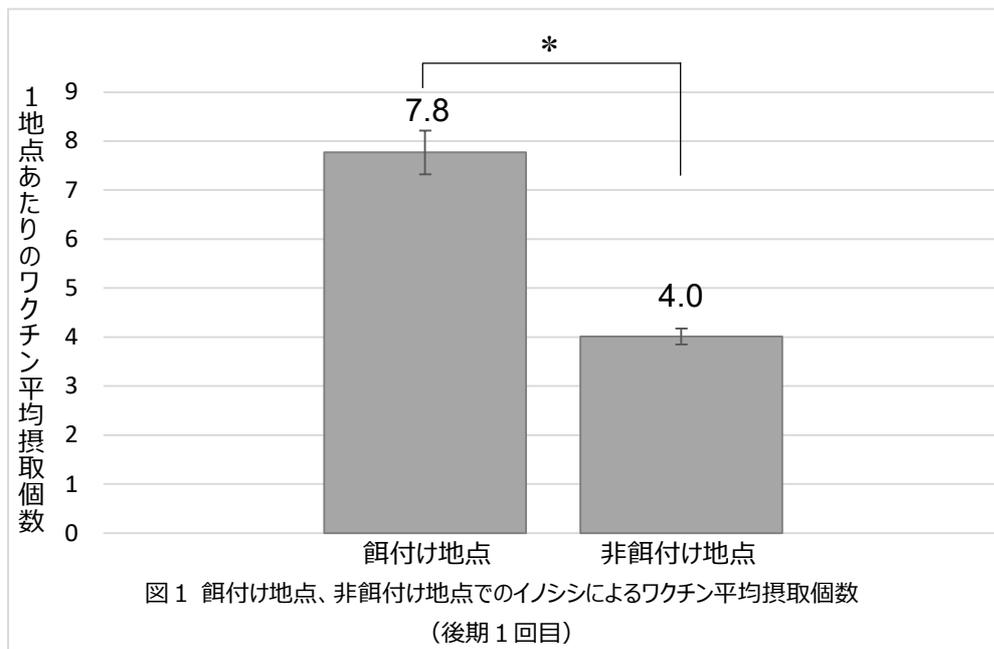
回収調査により、後期1回目散布の前に餌付けを行った225地点と、餌付けを行わなかった789地点（農業総合試験場、畜産総合センターの散布地点は除く）の摂取個数を調べました。なお、経口ワクチンは1地点当たり20個散布しています。



事前餌付けの様子

#### (2) 結果

図1は、餌付けを行った餌付け地点、餌付けを行わなかった非餌付け地点の1地点あたりのイノシシによるワクチン平均摂取個数を示しています。餌付け地点では、非餌付け地点と比べてイノシシによる経口ワクチン摂取率が明らかに高くなりました（\* 危険率5%水準で有意）。





## 2. 直行配列表実験を用いた摂取率向上要因の特定

### (1) 調査方法

複数の要因の影響を一度に判定可能な直行配列表という実験計画法を用い、県内のエリア（矢作川の右岸 VS. 左岸）、これまでにイノシシの食べ跡があったかどうか、事前餌付けの有無の3つの要因が摂取に及ぼす影響を調べました。表2に示す通り L4 直行配列表に要員を割りつけ、1区は95地点、2区は84地点、3区は108地点、4区は213地点のイノシシによるワクチン摂取率を回収調査により記録しました。

### (2) 結果

表3は、表2の各区において算出されたワクチン摂取個数の平均値を用いて分散分析を行った結果です。それぞれの区におけるワクチン平均摂取個数は、区1が3.38、区2が10.52、区3が5.22、区4が5.65でした。分散分析の結果、食べ跡、餌付けは、イノシシによる経口ワクチン摂取に対して有意な正の効果があると判定されました。一方、矢作川を挟んだエリアによる差は認められませんでした。

表2 L4 直行配列表

| 区 | 矢作川 | 食べ跡 | 餌付け |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | 右岸  | なし  | なし  |
| 2 | 右岸  | あり  | あり  |
| 3 | 左岸  | なし  | あり  |
| 4 | 左岸  | あり  | なし  |

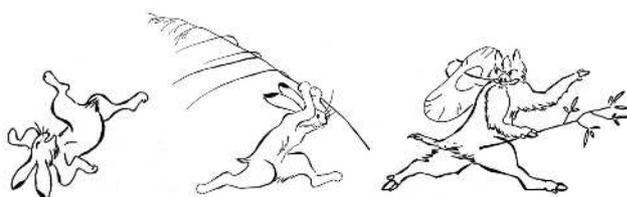
表3 分散分析表

| 要因  | 平方和         | 自由度 | 分散比 (F 値)     |
|-----|-------------|-----|---------------|
| 矢作川 | 2.292124101 | 1   | 2.292124101   |
| 食べ跡 | 14.34599744 | 1   | 14.34599744 * |
| 餌付け | 11.27113501 | 1   | 11.27113501 * |

### まとめ

事前の餌付けは、イノシシによるワクチン摂取を促進すると考えられます。また、過去にイノシシによるワクチンの食べ跡が1個以上あった地点は、イノシシによるワクチン摂取率が高かったため、食べ跡があった成績の良い地点に優先的に散布することが重要であると考えられます。

(S A)





## 編集後記

この4月から新編集担当になりました。よろしくお願ひします。

今年の個人的な目標がありまして、それが「美味しいシカに巡り合う」ことです。よくシカは美味しいと聞きますが、個人的なイメージは真逆です。たまに地元猟師からシカ肉をいただくのですが、「The 野生」。さばいた張本人は「それが良いから、わざとやっているんだ」と言っていました、、、

生肉ならともかく、調理済みを貰うと大変です。人生ワーストは、【自家製シカモモ肉の燻製】です。包丁を入れた瞬間に流れ出る肉汁（赤色）。あふれ出す香り（獣臭）。口いっぱい広がる味（鉄味）。トラウマです。やっぱり、そこは自分でやらないとダメなのかなあ

(NM)

☆あいち鳥獣通信のバックナンバーは、  
野生イノシシ対策室の Web ページ  
「[野生鳥獣資料室](#)」で公開中

